

チャイルドラインを「あなた」に「つたえる」情報誌

# With You

第70号 2021年夏

Childline  
YOKO  
HAMA

認定特定非営利活動法人

よこはまチャイルドライン

Tel 045-342-0255 Fax 045-342-0288  
<http://www.yokohama-childline.com>



## 「コロナがあぶりだした問題とは」

2020年1月末、新型コロナウイルスが日本に上陸して以来、2020年度は新型コロナウイルスパンデミックに明け暮れた年でした。よこはまチャイルドラインもコロナの影響を強く受けた1年でした。

電話件数は例年より減少しましたが、アンケートや子どもたちの声から、さまざまなお考えを寄せられる1年でもありました。

### チャイルドラインの活動を制限せざるをえなかった

2020年4月7日、当時の首相安倍総理より第1回目の緊急事態宣言が発令されました。コロナとはどういうウイルスなのか、またはつきりせず、人びとは不安になりました。

感染拡大を防ぐため、そもそもちろん受け手のみなさんを守るた

め、緊急事態宣言以降は、活動を全面休止せざるをえませんでした。

本来、こんなときこそそのチャイルドラインで、子どもの不安な気持ちやつらさに寄り添うことが大事な使命なのですが、子どもの声を受けとめる「受け手」はすべてボランティア、無理をお願いするわけにもいかず、そしてチャイル



ドラインからクラスターを発生させてはいけない、などと考えると、4月と5月はチャイルドラインの活動を自粛せざるをえませんでした。

「子どもたちのことを考えると、なんとかできないかと切なくなり、多くのスタッフが忸怩たる思いでいましたが、「いのちを守る」ことの時には、どうすることもできなかったのが実情です。

緊急事態宣言が解除されると、よこはまチャイルドラインも通常の活動に戻りましたが、ボランティアのみなさんを強制するわけにもいかず、なかなかシフトが埋まらないという日もありました。

そして、年が明けて2021年1月8日、菅首相により2回目の緊急事態宣言が発令されました。もちろん、感染拡大は防がなくてはなりません、コロナの実相が少しずつわかってきて、1人ひとりできる感染対策や、事務所での感染予防を徹底することで、このときは前半（16時～18時半）のみは開設することができま

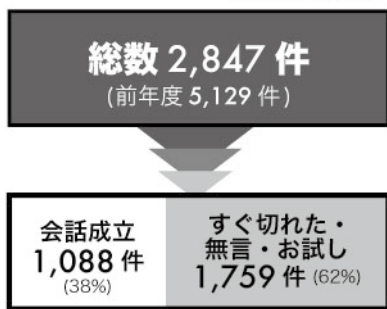
した。

2回目の緊急事態宣言解除後は、ようやく通常の体制で子どもの電話を受けています。

このように、2020年度はチャイルドラインの活動を制限しなくてはならない年で、これは2002年、チャイルドラインの活動を始めて以来のことでした。

2020年4月1日から2021年3月31日までの1年間に、よこはまチャイルドラインが受けた子どもたちからの電話は2847件でした。昨年度

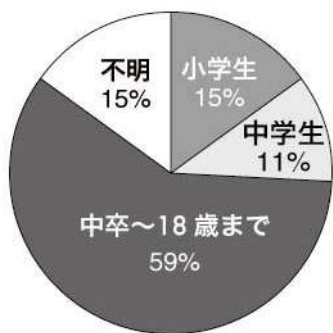
【着信状況】



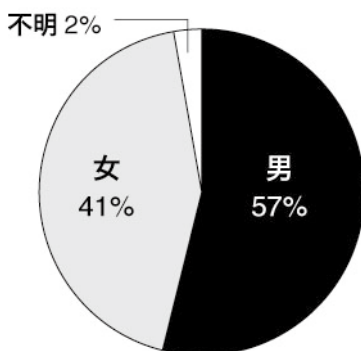
5129件と比べると、2282

件へと大きく減少しました。コロナ禍であったため、致し方ないとはいえ、そのうち、会話が成立したのは1088件（昨年度1938件）、会話不成立の電話は1759件（昨年度3189件）。ただ、年間平均会話成立率は38%で昨年度とほぼ同じでし

【構成比】



【男女比】



た。

今年度の電話件数および相談内容を表にまとめてみました。会話成立した電話の

内容	自分	学校・アースクール	性	家庭	地域	部活	職場	ネットトラブル	不明
件数	541	211	156	141	11	7	9	12	1,759

電話の内容別では、昨年同様に「自分」「学校・フリースクール」「性」がトップ3。続いて「家庭」「地域」と続きます。また今年度も、「ネットトラブル」についての電話は多くありました。

## コロナ禍での活動で大切なこと

2020年度は、コロナ禍という危機的状況のなかで、電話をかけてくれる子どもたちやボランティアで電話を受けてくださったという受け手のみなさんをどう守っていくかが大きな課題となりました。

基本は、「受け手のみなさんを守らなければ子どもたちも守っていけない」という原点に立ち返り、どちらのいのも守っていくためにはどうしたらいいのか、具体的な対策を考えました。

ひとつめは、週3日の開設日の感染対策の徹底です。玄関から電話を受ける部屋までの動線や電話機の消毒を徹底すること。受け手や事務局のみなさんは不織布マスクを着用すること。さらには、3密を避けるため、対応人数、対応時間を減らし調整することで安心安全な環境づくりに努めてきました。

また、チャイルドライン支援セ

ンターによると、コロナ禍での中高生の自殺者が過去最多になり、在宅勤務で家にいる親との関係など、家族の問題・自傷行為の相談が増え、子どもが死にたいと思っている相談が前年同期の4・6倍にのぼっているとのことでした。

そこで、ふたつめは、このような電話を受ける受け手のみなさんの精神的負担の軽減について考えてみました。このようにのちにかかわる電話を受けると、だれでも精神的に負担になります。

「子どもの言葉が頭からはなれなくなり、自分の言ったことは適切だったのかを考えると、夜も眠れなくなってしまう」（ベテラン受け手のAさん）

たとえば、トレーニングを受けた専門家であってもこのような電話には心を削るものです。ましてや、ボランティアの受け手のみなさんに重荷を背負わせるわけにはいきません。

どうすれば受け手も子どもも守れるのか、熟慮を重ね、検討した

結果、これまでではかかっていた電話を最初から最後までひとりで受けるというやり方でやってきましたが、いのちにかかわるような電話対応については、ひとりで対応するのではなくチームで対応する、ということにしました。

チームで受けとめることで、受け手の負担を軽減し、受け手のころを守っていくことが子どもたちを守ることにつながっていくのです。受け手が心身ともに健康でなければ、子どもの電話に向き合うことはできません。

そして、3つめは「チーム受け手研修」の実施です。危機的な状況以外の電話でも、受け手のみなさんのころを疲弊させる、怒り・性・無言・頻回・犯罪などの電話に関しても、一貫性を持ってチームで対応することが重要だということに気づいたのです。そのため、研修を徹底し、チームでスムーズに対応していくための方策を考え、実行していくことが求められるのです。

受け手をまとめるリーダーで、

理事でもある野口由起子さんは語ります。

「コロナ禍においては、『個人の力』だけでなく、『チームの力』を発揮して活動していくことの大切さを身にしみて感じました。いや本来はコロナ禍だけでなく日常的にも、同じことですよね。これからも受け手のみなさんが、深く傷つくことなく子どもたちと向きあい寄り添っていけるよう、安心安全な場所と学びを提供していきたいと考えています。受け手のみなさんあつてのチャイルドラインです。みなさんの力を借りて、みんなで子どもたちを見守っていききたいと思います。」

## コロナだけの問題ではない

「なんだかつまらない。生きてる意味がわからない。むなししい気持ちになる」（中学女）

「親が喧嘩ばかりしている。見て

いるほうもいやになる」(小学男)

「推薦で高校に入学したが、特進で学費免除にならなくて親に申し訳ない気持ちになっている」(高校女)

「母子家庭で、母親がコロナで仕事がなくなり、家賃が払えなくなった。どうしたらよいか」(中学男)

「兄から『死ぬ』と言われて、いやな気持ちになった」(小学女)

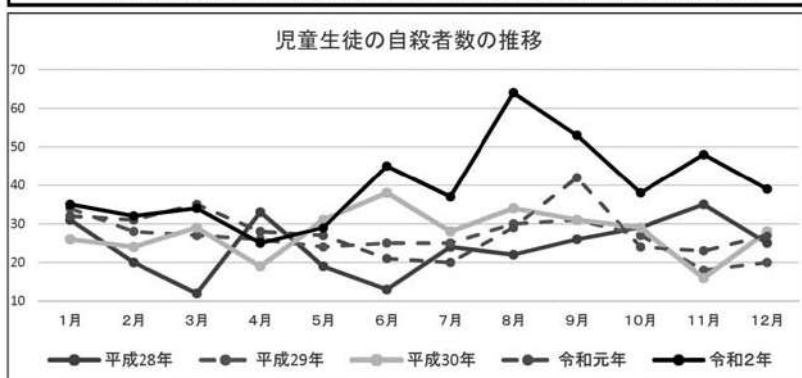
昨年度はコロナ禍で、ころなしか子どもたちの声に切実なものが増えてきたように思います。

確かに、昨年度の自殺者数を見ると、若者の自殺が急増しています。時期的には、休校明けの6月と、コロナの影響で短くなった夏休み明けの8月に自殺が増えました。小学生から高校生までの8月の自殺者数は、前年同月の2倍にもなります。

「家賃が払えなくなった」「コロナで仕事が終わった」など、もちろん、コロナによる直接的な影響も深刻ではあります。

しかしたとえば、「死にたい」とか、「生きていたくない」といっ

### 厚生労働省の自殺統計に基づく児童生徒の自殺者数の推移



出典：文部科学省HP

た子どもの叫びがあたかもコロナによるものであると短絡的に考えず、決まらずに、この状況は決してコロナだけの影響ではないことをわたくしは忘れてはならないと思います。ここはじっくりと子どもの叫びの背景に何がある

のか、考えていく必要があります。

「もともと日本の子どもたちのなかには、いじめや虐待、不登校など生きづらさを抱える子どもが数多くいて、そこに対する手立てが不十分でした。だから、昨年9月、ユニセフが発表した日本の子どもたちの幸福度ランキングにおいて、精神的幸福度がOECD加盟国中ワースト2位という不名誉な結果があるのです。

まずは、そのことをしっかりと押さえる必要があります。コロナが終息すれば問題が解決するというわけではありません」

よこはまチャイルドラインの情報誌の編集を手がける、事務局長の能登夕美子さんはため息まじりに話します。

「もともと日本の子どもたちにはケアが行き届いていなくて、精神的にも強くない子どもが多かった。海外の若者と比較して自己肯定感の低さも気になります。まさにそこに、コロナが追い打ちをかけたと言えるのではないのでしょうか。ですから、ちよつとしたこと

しれないですね」

つまりは、子どもたちへの息の長い根本的な支援が不可欠ということになります。子どものこころの叫びをしっかりと受けとめる、いじめや虐待、不登校など生きづらさを抱える子どもたちをしっかりと支える、というように。

ここで大切なことは、子どもの問題を親や先生といった、直接的に子どもにかかわるひとだけの問題に矮小化しないことです。子どもは社会の宝であり、未来です。次世代を育むことは、すべてのおとなに課せられた大切な責務であり、したがって、子どもの問題は社会問題であり、すべてのおとなの問題ともいえるのではないのでしょうか。

チャイルドラインもより研鑽を積み、子どもにとって親しみやすく使いやすく、そして多くのひとや機関と協力して、子どもたちのこころの叫びをしっかりと受けとめることのできる存在にならなければ、と思います。



## 子どもの声を大切に 社会に

「感染者が増えて、また休校になったり、行事が中止になるのはつらい。なんか、もうつらい」

「学校が休みになり、友だちに会えないのがいちばんつらい」

「早く学校が始まってほしい」  
前号でもお伝えしましたよう



に、子どもたちにコロナのアンケートをお願いしました。そのことで新たに覚えてきたこともあり

そのひとつが、子どもにとっての学校です。アンケートに寄せられた子どもたちの声からは、子どもたちにとって学校が大切な場所であることがあらためて再確認

できました。当たり前といえませんが、チャイルドラインにはおもに「学校には行きたくない」という声のほうが断然多く寄せられるからです。

休校は、「学校があつたほうがいい」「学校の良さに気づいた」など、子どもたちみずから学校の良さを再確認し、「みんなとグループで話しながら給食を食べたい」「黙って食べるとつまらない」など、当たり前のように和気あいあいと食べていた給食を見直す子どもたちもいました。

また一方で、「分散登校のときはクラスが少人数でなんとか持ちこたえてがんばっていたが、通常に戻ったら疲れて、再び学校に行けなくなり、自己嫌悪になった。やっとなり無理になったのにやっとなり無理となり、喪失感でいっぱい。こころのやもやもが増えた」など、学校に行くのがつらいという子どもがいるのも事実です。

つまりは、どちらも子どもたちの真実の声であり、そのどちらの子どもたちの声にもしつかり対応してゆくことが求められるのではないのでしょうか。

往々にして、わたしたちは「学校には行きたくない」という声のほうに重きを置きがちで、普通に学校に行っている子どもは後回しにされてしまう傾向にあります。が、どちらも大切にして政策や支援を進めてゆかねばならないと思います。

そして、コロナのアンケートを特集した前号は、多くのひとに共感していただきました。

「子どもがどう考えているのか、知れたかった」

「アンケート、素晴らしいと思います。この1年、子どもたちは置き去りにされていきました。子どもだって、ほんとうに大変だったのに。アンケートをとっただけでも、子どもたちはうれしかったと思います。子どもの人権が大切にされていない日本であることが、よくわかります。そんななか、チャイルドライン、素晴らしいと思います」

確かに、連日コロナのニュースは流れても、おとなはどう思ったか、おとなはどうしたか、ばかりで、子どもの声が反映されることはほとんどありませんでした。子どもだって、ひとりの人間。コロナについても、ちゃんと考えているにもかかわらず、です。

子どもの声に、真摯に耳を傾ける。子どもの声を大切に。子どもとともに、いろんな問題を考えていく。そんなことが当たり前になるよう、みんなで力を合わせていきたいものですね。

## 子ども支援者連続講座 2021

日時	テーマ	講師
第1回 8月21日 10:00～12:30	自立した大人になるために	泌尿器科医 オフィスいわむろ代表 <b>岩室 紳也</b>
第2回 8月28日 10:00～12:30	LGBTQを知る	LGBT 若者支援 にじず代表 <b>遠藤 まめた</b>
第3回 9月4日 10:00～12:30	子どもの話を聴く	社会福祉法人 真生会理事 <b>小出 太美夫</b>
第4回 9月11日 10:00～12:30	自傷と自殺	国立精神神経医療研究センター 精神保健研究所 <b>松本 俊彦</b>
第5回 9月18日 10:00～12:30	今どきの子どもに 思いをはせる	よこはまチャイルドライン 代表理事 <b>徳丸 のり子</b>

## 子ども支援者連続講座 2021 開催のお知らせ

子ども支援に興味のある一般の方向けに一昨年より始まった子ども支援者連続講座ですが、今年度は8月21日（土）より、毎週土曜日連続5回の講座を開講いたします。

今回はZoomウェビナーを利用した、オンライン配信での受講となります。よこは

まチャイルドラインと関わりの深い講師陣とともに、おとなとしての役割を一緒に考えませんか。

パソコン、タブレット、スマートフォンなどインターネットに繋がられる機器をお持ちであれば、全国どこからでも受講できますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

お申込みは、ホームページの講座申込みページ、または事務局宛のEメールで受け付けております。詳しくはホームページをご覧ください。

ホームページはこちら↓



## 2021 年度通常総会が 終了しました

6月5日（土）、認定NPO法人よこはまチャイルドライン 2021 年度通常総会が終了しました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、青少年育成センター第一研修室にて、議長・議事録署名人で開催し、正会員の皆さまには書面表決書の提出という形でご参加いただきました。

おかげさまをもちまして、すべての議案について、過半数の賛成をもって議決されました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## ワケあって顔も名前も明かせません!? NHK『所さん大変ですよ!』に出演

木曜夜7時半から放送されているNHKの番組『所さん大変ですよ!』の「ワケあって顔も名前も明かせません!？」というテーマの回に、よこはまチャイルドラインの電話の受け手ボランティアが取り上げられ、5月6日に全国放送されました。

受け手ボランティアが顔も名前も出さずに活動する理由から、チャイルドラインの活動内容まで丁寧に取材していただき、子どもたちの抱える悩みや、このコロナ禍での子どもたちの切実な声を、全国のお茶の間に伝えてもらうことができました。



▶番組内でインタビューを受ける徳丸代表

# よこはまチャイルドライン 電話利用状況 20年12月～21年4月

主訴	12月	1月	2月	3月	4月
学校 フリースクール	38	7	10	16	27
部活	0	0	0	1	4
性	10	9	11	18	23
家庭	19	4	7	12	8
職場	0	1	0	2	0
ネット トラブル	2	0	2	1	1
地域	3	1	1	2	2
自分	70	45	40	45	34
不明	239	102	139	167	269
累計 (会話成立率)	381 (37%)	169 (40%)	210 (34%)	264 (37%)	368 (27%)

## はい、チャイルドラインです。

### 「ある日の夜の話し」

あっ、もしかして。この声、ずっと気になっていたあのひとかも：  
久しぶりに聞く声でした。そのひとはいつも外国語であいさつをして話し始めるのです。ひとしきり最近の様子を話してくれて、来月20歳になること、いまは仕事、恋愛も順調であることを報告してくれました。  
かつての会話や電話口で歌を聞いたことなどが蘇ってきて、なつかしくなりました。

現在の様子を話す声はずっと明るく、最後にはほかの受け手さんにもよろしくお伝えくださいと気配りもしてくれました。

「チャイルドラインは18歳までだとわかってはいるけれど、きょうはどうしても自分の気持ちを伝えたくてかけました。電話をかけて話をするのが5年間、こころの拠り所でした。本当にありがとうございました」  
ちよつとうれしい報告の電話でした。リズムのように雨の音が聞こえる、ほっこりとした夜になりました。



## RECOMMEND

By. 猫のみみ

### Book モンテッソーリ教育で子どもの本当の力を引き出す

著/藤崎 達宏 (三笠書房)

棋士の藤井聡太さんがモンテッソーリ教育を受けていたということでも話題になってましたね。

1907年、マリア・モンテッソーリが「子どもの家」を設立し、子どもたちの持っている「本当の力」を発揮できるように環境づくりをして自律をうながす教育をめざしました。彼女は、イタリア発の女性医師で医学、生物学、心理学といった学問が土台になっているのが特徴です。

この教育を受けた有名人はグーグル、アマゾン、マイクロソフト、フェイスブックの創始者たち。「本当の力」を発揮できましたね!!

### Movie モンテッソーリ子どもの家

監督/アレクサンドル・ムロ

子どもたちは「子どもの家」で過ごす時間を「遊び」というのではなく、「お仕事」と理解しています。自分のやりたい仕事を何度も何度も繰り返します。そして、おしゃべりしたり、ケンカしたりすることなく、もくもくと手を動かして作業に集中していました。

そんな子どもたちの目はキラキラして好奇心いっぱいでした。先生方は、アドバイスしたり、説教したり、励ましたりせず、子どもたちが仕事をしやすいように環境を整え、安心して集中できるよう寄り添っていました! チャイルドラインの寄り添い方と同じです。

いつでもチャイルドライン  
いざとなったらチャイルドライン



## ご支援ありがとうございます



よこはまチャイルドラインの活動は、多くの方のご支援で成り立っています。  
子ども達からのフリーダイヤルの費用など、これからも皆さまからのご寄付が必要です。  
どうぞ応援よろしくお願ひいたします。

2020年12月16日～2021年5月31日のご支援総額 **511,510 円**

## あなたにもできる社会貢献

### ● 会員募集 ●

個人	正会員	3,000 円 / 1口	総会の議決権あり
	賛助会員	3,000 円 / 1口	—
法人	正会員	10,000 円 / 1口	総会の議決権あり
	賛助会員	10,000 円 / 1口	—

よこはまチャイルドライン賛助会員の  
年会費は、「寄付金」になります

※正会員費は控除対象外です



年会費は何口でも歓迎!

ご入金は郵便局の払込票をご利用ください

※匿名希望の方は、その旨払込票にお書き添えください

□座番号 **00270-6-13812**  
□座名 **NPO法人よこはまチャイルドライン**  
ゆうちょ銀行 当座 ○二九店13812

### よこはまチャイルドラインに寄付すると 「寄付金控除」が受けられます

横浜市の認定 NPO 法人であるよこはまチャイルドラインへの寄付は、「寄付金控除 (税額控除)」の対象となり、確定申告をすることで税制上の優遇措置が講じられます。

#### 所得税

【寄付金の合計額 - 2000 円】 × 40% が税額控除されます。  
※所得税額の 25% が上限です

#### 住民税

横浜市に在住の方は【寄付金の合計額 - 2000 円】 × 10% が税額控除されます。 ※お住まいの自治体によって異なります

#### 相続税

相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません

#### 法人税

法人による寄付は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。

詳細な手続きについては、最寄りの税務署にお問い合わせください

### ● 未使用切手、書き損じハガキはありませんか? ●



一年を通じ、神奈川県内の小中高生一人ひとりへチャイルドラインカードを配布しています。その数、実に 100 万枚。未使用の切手や書き損じのハガキはその配送代に充てることができます。封書に入れ、下記の宛先まで郵送してください。ご協力お願いいたします。(テレフォンカードの受付は終了いたしました。)

〒240-0002 横浜市保土ヶ谷区宮田町 1-70-16 よこはまチャイルドライン事務局宛

#### 編集後記

原因論と目的論は、敵対するものではなく、視点の違いであり、その両方が必要だ。「子どもの自殺が増えている」その原因を探り、子どもが安心しておとなになれる世の中にする。私たちチャイルドラインの活動は後者の目的論。だから今日も子どもたちの声をただ受けとめる。